



## 高校 ユネスコ班



広島大学附属高校は、1953(昭和28)年に、ユネスコパリ本部より、世界で最初のユネスコ協同学校（現在はユネスコ・スクールと呼ばれている）に指定されました。高校生のクラブ活動としてユネスコ班ができるのは、1970(昭和45)年です。以後、今日まで、半世紀近く、本校のユネスコ・スクール事業の中核として活動を続けてきました。日本ユ

ネスコ協会連盟がすすめる「世界寺子屋運動」をはじめ、さまざまなボランティアに参加するなど、年間を通して活動を行っています。校外での活動も多く、それを通して他校の生徒と交流ができるのもユネスコ班の特色です。2017年度は、高校2年生24人、1年生9人で活動を始めました。

ユネスコ班の活動の主なものを、3つ紹介します。

### ① 広島平和記念公園の碑めぐり



ユネスコ班は、毎年、平和学習の一環として、広島平和記念公園内の多くの石碑をめぐり、それらがつくられた背景や経緯について学習をしています。そして、他から広島を訪れる高校生や大学生に、平和記念公園内の碑めぐりの案内役をつとめています。碑めぐりを通じて、これまで知らなかった石碑の存在や、それらにこめられた思いを知り、また、それを同世代の人に語り伝えることで、多く

のことを学びました。広島で起こった悲劇、現在も続いている被爆者の苦しみを知り、それを伝えていくことの大切さを、あらためて強く感じる機会になっています。

### ② 文化祭でのフェアトレード商品の販売

みなさん、フェアトレードという言葉を知っていますか？ 初めて聞く人も多いのではないのでしょうか？ フェアトレードとは英語に直すと「Fair Trade」となり、その名のとおり“公平な貿易”という意味です。具体的に言うと、発展途上国の作物や製品を適正な価格で取引し、発展途上国の生産者の生活向上を支援しようとする活動です。



ユネスコ班では毎年、文化祭で、主にバングラデシュで生産された工芸品や食品などを、フェアトレード商品として、委託販売をおこなっています。販売をおこなう前に、フェアトレードショップの店長を講師としてお招きし、フェアトレードの意義や歴史を学ぶ学習会もおこなっています。興味のある方は、ぜひとも、本校文化祭のユネスコ班の部屋に、足を運んでみてください。



### ③ 「世界寺子屋運動」の街頭募金



ユネスコ班は毎年12月23日に、広島ユネスコ協会の主催行事に参加して、「世界寺子屋運動」の街頭募金活動をおこなっています。「世界寺子屋運動」とは、日本ユネスコ協会連盟がすすめている運動で、発展途上国で読み書きのできない子どもや大人に、学ぶ機会を保障するために、さまざまな活動をおこなっています。街頭募金活動や書き損じはがき

回収運動をおこない、集められた浄財を発展途上国に送り、それをもとにして、識字教育をおこなうための施設である寺子屋が現地にたてられています。

このほか、岩国ユネスコ協会の主催行事「SPACE」に参加して、岩国市内の高校生と、環境問題や平和の問題などについて討論をしたり、広島市青少年センターと広島ユネスコ協会の主催行事である「国際理解セミナー」に参加して活動報告をおこなったり、8月15日には広島ユネスコ協会の主催行事「平和の鐘を鳴らそう」に参加して、平和のメッセージを発表し、「平和の鐘」を鳴らしています。